

N 住友別子病院ニュース SUMITOMOBESHI HOSPITAL NEWS

2007 January

NO. 101

奇数月1日発行

救急指定病院
地域がん診療連携拠点病院
病院機能評価機構認定病院
医師臨床研修指定病院



写真：加藤 進さん（新居浜市）瓶が森から石鎚を望む

理念

患者様の利益を最優先に考え、良質な医療を提供するという社会的責任を果たします

行動指針

- 1 私たちは人間愛をもって行動し、誠実で信頼される病院を目指します
- 2 私たちは医療と福祉の一翼を担い、地域社会での保健増進に努めます
- 3 私たちは患者様の権利を尊重し、説明と同意による医療を実践します
- 4 私たちは新しい知識と技術を活用し、良質で適切な医療を提供します
- 5 私たちは患者様の安らぎを願い、心と体に優しい医療環境を創ります

CONTENS

新年のご挨拶 院長 西本 健	2	院内防災訓練について 糖尿病週間行事報告	6
特集：花粉症の時期とアレルギー性鼻炎の治療法 耳鼻咽喉科長 苅田 賢治	3	院内コンサート 編集委員会より 住友別子病院カレンダー	7
特集：知っていますか？顎関節症 歯科長 兵頭 誠治	4	すこし昔の話です。 リハビリセンター 篠原 文雄	8
小児科診察室拡張 医療安全推進週間の取り組み（看護部） 禁煙応援隊“敷地内全面禁煙”	5		

新年のご挨拶



院長
にしもと けん
西本 健

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は住友別子病院に対しまして、格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございました。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて昨年は、眼科の拡充（1月1日）、『地域周産期母子医療センター』の認定（3月31日）、一昨年指定を受けた「地域がん診療拠点病院」は『がん診療連携拠点病院』として更新（4月1日）されるなど、当院の地域における役割は次第に大きくなっております。

また病院機能評価機構による認定更新は、日常診療に多忙を極める中、職員一丸となり取り組んだ結果、バージョン5という高いハードルにも拘わらず、前回に引き続き一発合格という快挙を達成することができました。これらはひとえに皆様方による、日頃のご指導ご鞭撻の賜物と、感謝申し上げます。

施設面では、がん外来化学療法数が予想をはるかに上回った結果、化学療法ベッドの増床（3床 5床）工事を行い、また小児科拡充のため小児科外来の拡張工事を行いました。

またMRやCTなどの画像をオーダーリングの画面上で参照できるシステムの構築を行いました。皆様方にご覧いただきやすくなるとともに、診療の質の向上と効率化にも役立っていると思います。

医療界は昨春の診療報酬の未曾有といえる大幅減額改定や、医療制度改革により厳しい局面を迎えております。更に医師不足、看護師不足は深刻で、医療職員は過重労働の状態となっています。その結果、地方の医療（救急医療・特に小児救急医療・産科医療等）は崩壊の危機に瀕しております。看護師や医師の資格を持ちながら、就業されておられない方も、皆様のお近くに大勢いらっしゃるかと思います。随時募集しておりますので、もしお心当たりがございましたら、ご応募やご紹介を頂きたいと思っております。

長い診療待ち時間や駐車場不足等では、皆様方に大変ご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。改善に努めてまいります。皆様方も可能な事柄については、ご協力よろしくようお願い申し上げます。

さて、皆様の健康に資する医療機関として、遅きに失した感はありますが、本年4月1日をもって、敷地内全面禁煙を実施することにしました。その結果禁煙支援外来も保険診療の適応となり、ご活用いただきやすくなります。敷地内禁煙のエリアには屋上はもちろん、駐車場や敷地内走行中の車内も禁煙エリアに含まれますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

医療の安全には職員一同取り組んでおりますが、皆様方に今まで以上にご参加ご協力いただくことが多くなると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

住友別子病院職員は、本年も患者様の利益を最優先に考え、良質な医療を提供するという社会的責任を果たしたいと考えております。今後とも、ご支援ご鞭撻、ご協力の程宜しくようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



花粉症の時期と アレルギー性鼻炎の治療法



耳鼻咽喉科長
かりた けんじ
荻田 賢治

スギなどの風媒花は多量の花粉を作り、遠くまで運ばれるため花粉症の原因となります。樹木ではスギ、ヒノキ、シラカバ、ハンノキ、ケヤキ、ブナなどです。草木ではイネ科のカモガヤ、オオアワガエリなど、キク科のブタクサ、ヨモギなどがあります。花粉の飛散時期は、ハンノキはスギよりも少し早く1月中旬から3月中旬です。スギは1月下旬から4月上旬で、ピークは2月下旬から3月上旬です。スギに続いてヒノキは3月上旬から4月上旬で、ピークは4月上旬です。シラカバは北海道および本州中部以北に自生しており4月下旬から6月にかけて花粉の飛散が見られます。カモガヤは5月中旬から6月中旬でブタクサは7月上旬から10月中旬まで開花し、ピークは9月上旬です。ヨモギは8月中旬から11月中旬でブタクサより1ヶ月おくれます。

つづいて通年性をふくめたアレルギー性鼻炎・花粉症の治療法ですが、大きく分けて4種類の治療法があります。

まず抗原回避です。アレルギー反応は原因である花粉が鼻の中に入らなければ発症しません。マスク、メガネなどの防御器具を上手に使ってください。

次は最も一般的な薬物による治療法です。薬物には経口薬と点鼻薬、点眼薬があります。経口薬には抗アレルギー薬とステロイド薬があります。抗アレルギー薬は季節の初期から飲むとより効果があります。ステロイド薬は副作用も多いのでどうしても症状が強いときに頓用で使います。点鼻薬には抗アレルギー薬、ステロイド薬、血管収縮薬、抗コリン薬があり、最も使用されているのは点鼻ステロイド薬でくしゃみ、鼻水、鼻づまりの症状に等しく効果があり、経口ステロイド薬のような副作用はありません。点眼薬にも抗アレルギー薬やステロイド薬がありますが、目の病気がある人は眼科で処方してもらったほうがよいと思います。

3番目には減感作療法が挙げられます。これは原因の抗原を少しずつ体に注射をして、抗原が鼻から入ってきてもびっくりさせない、鼻の抗原に対する反応を減らす治療法です。2年以上の長い期間がかかるのと季節の間際からでは始められないのが欠点です。体が拒否するような抗原の注射ですから稀ですが強い全身のアレルギー反応が生じることがあり、注意が必要です。

4番目に手術的治療法ですが、まずレーザー焼灼が挙げられます。アレルギー性鼻炎の症状を起こす主な場所（下鼻甲介）をレーザーを使って焼灼し、粘膜を変性させてアレルギー反応を抑えます。鼻閉に対しては有効率が高く、くしゃみ、鼻水に対しては若干有効率が下がりますが効果は数ヶ月から5年前後続くこともあります。通院で比較的簡単にできる治療です。さらに症状が強く通年性の場合では、下鼻甲介の粘膜下の骨を一部切除したり、くしゃみ、鼻水、鼻づまりに関係する神経を切除する手術もありますが、数日の入院が必要です。これらの治療で症状を軽くさせていきます。

区分	診察	受付時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	初診	8:30~11:00					
	再診	8:30~12:00					
午後	再診	16:00~17:00					

私たちは、あなたを求めています。

看護職員募集中 正職員 職員 臨時職員

問い合わせは TEL(0897)37-7113 総務人事課：大崎・三崎



知っていますか？ 顎関節症

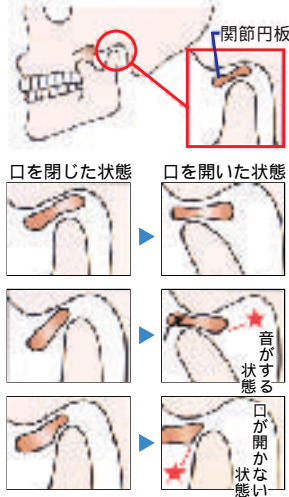
顎関節症(がくかんせつしょう)とは？

「あごが痛い」「口があけにくい」「あごを動かすと音がする」などの症状を主とする顎の関節周囲の慢性的疾患のことで、原因や症状は様々ですが、まとめてこう呼ばれています。「硬いものを食べたら顎が痛くなったが、しばらくしたら治った」という程度の軽症例を含めると日本人の二人に一人が経験している、とも言われています。しかし、重症例になると手術を必要としたり、頭痛やめまいが強くなったり、食事摂取が困難となり精神状態にも影響を及ぼすものなど、日常生活に支障をきたすほどの症状に苦しむ患者様もおられます。



歯科長
ひょう どう せい じ
兵頭 誠 治

顎関節症の構造



顎関節症の症状

あごがいたい(関節痛) 顎関節および周辺の頬やこめかみの痛み、開閉口時や食べ物を噛みしめた時に痛むのが特徴。

口を大きく開けられない(開口障害) 正常な人は、指が縦に三本(約40mm)入るが、指が二本程度(約30mm)もしくはそれ以下しか入らない。

あごを動かすと音がする(関節雑音) あごを動かした時に、耳の前あたりで「カクカク」といった音がする。音がするだけで、他の症状がない場合は特に治療の必要はないが、顎関節症予備軍の可能性がある。

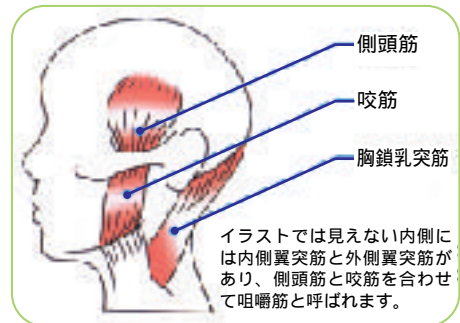
顎関節症の4つのタイプ

筋肉の障害(型) あごを動かす筋肉が何らかの原因で緊張し、固くなったり血液循環が悪くなるために痛みがあるタイプ。

関節包・靭帯の障害(型) 顎関節が捻挫した状態。関節包や靭帯に強い力が加わって損傷するもので、動かすと痛みを伴うタイプ。

関節円板の障害(型) 関節円板が本来あるべき正常な位置からずれているタイプ。口を開けると音(クリック音)がしたり、口を大きく開けられなくなる(ロック)タイプ。

骨の変形(型) 顎関節に強い力が恒常的に加えられることにより、骨が変形するタイプ。



顎関節症の原因

- ・あごにかかる過剰な力「歯ぎしり」「くいしばり」
- ・精神面からの負担「ストレス」
- ・癖による負担「偏咀嚼」「うつ伏せ寝」「頬杖」「猫背の姿勢」
- ・悪い噛み合わせ

その他、さまざまな要因が考えられます。

顎関節症の治療

認知行動療法 歯ぎしりやくいしばりなど、原因となる習慣的行動を自覚させ、それらを取り除くようにします。

スプリント療法 スプリントという歯列を覆う装置を使用することによって、顎関節や筋肉への負担を軽減させます。

薬物療法 関節に炎症が起こっている場合は、薬で鎮静させます。

外科的療法 症状が、改善されない場合は、外科的に治療する場合があります。

顎関節症は放置すると慢性化し、日常生活に支障をきたす場合もあります。おかしいな、と思ったらお気軽に歯科口腔外科を受診してみてください。

区分	診察	受付時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	初・再診	8:30~12:00					
午後	初・再診	15:00~17:00					

歯科は完全予約制です。あらかじめ電話にてお問い合わせ下さい。

小児科診察室拡張

住友別子病院では、小児科診療の充実を目的として、平成18年10月に小児科医師1名を増員するとともに、合わせて小児科外来の拡充工事を実施していましたが、ようやく11月に完成の運びとなりましたのでその概要をご報告いたします。



処置室

ビデオの視聴および絵本等の閲覧が可能な処置室2室を備えています。

授乳室

外来エリアには授乳室を完備しておりますので、お気軽にご利用ください。

診察室

個室型の診察室3室を配置しました。

小児科では、医師3名体制のもとで小児科一般診療はもちろんのこと、産婦人科との協力により周産期医療にも力を注いでおります。

区分	診察	受付時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	初・再診	8:30~12:00	加藤文徳 後藤振一郎 津下 充	後藤振一郎 津下 充	加藤文徳 津下 充	加藤文徳 後藤振一郎	加藤文徳 後藤振一郎 津下 充
午後	初・再診	15:00~16:30	加藤文徳 津下 充			後藤振一郎 津下 充	
午後	特殊外来	予約制		予防接種 慢性疾患	発達健診 慢性疾患		乳児検診 慢性疾患

医療安全推進週間の取り組み(看護部)

厚生労働省が定める医療安全推進期間中(平成18年11月19~25日)看護部ではパネル展示と相談コーナーの開催や看護職員対象に事例分析研修会を実施しました。

医療安全推進週間の目的は、日ごろ私たちが医療事故防止に取り組み、安全な医療を提供できるよう努力している事を、患者様やご家族に理解して頂くこと。そして私たち自身が身近に起こったアクシデントやインシデントを教訓として、反省・啓発の意識付けを高めることです。具体的には

「医療安全推進週間・声だし3回!・指差しヨシ!」の水色ハートワッペン
安全確認方法の紹介「リストバンド、注射・採血時の確認方法」
転倒・転落防止対策「離床センサー(薄型マット君)・離床検知装置(転倒むし)」

KYT(危険予知訓練)の紹介「その場を見て危険を予知する能力を高める」などです。患者様からは「確認してもらえると安心」「リストバンドはいいですね」等、ご意見を頂きました。



日頃の事故防止への取り組みをご紹介できたことで、患者様に安心感を持って頂けたのではないかと思います。それと同時に、患者様の安全を守らなければならないという責任を改めて認識する機会となりました。

これからも患者様と一緒に取り込める医療安全に努力いたしますので、ご協力よろしくお願い致します。



禁煙応援隊

あなたのため、家族のため、そしてみんなのために禁煙を...
がん死亡、男性の約4割は“たばこ”が原因

平成19年4月1日より当院は **敷地内全面禁煙**

院内防災訓練について

平成 18年 10月 29日（日）に防災訓練を実施いたしました。

近年は火災を想定した訓練に取り組んできましたが、昨年に引続き今年は、ここ数十年以内での発生が予測されている南海、東南海地震に対する体制整備を目的に、大規模災害を想定した消火、トリアージ訓練を行いました。また、訓練に際しては、今年度も新居浜市北消防署に立会をいただきました。

訓練は、午前9時頃震度5弱の地震が発生し、外来棟2階歯科から出火。さらに、地震により院外で負傷した多数の方が来院するという想定で人命救助に重要とされるトリアージに取り組みました。特にトリアージにおいては、模擬患者・付添役の迫真の演技により、緊張感のある実践さながらの訓練となりました。

訓練終了後、消防署からは「訓練結果は良好である」とのお話をいただきました。また、西本院長からは「トリアージもあったため皆真剣に取り組んでもらえた。想定外の事態にも遭遇したが、想定内でも準備不足のためか戸惑う場面が見受けられた。南海、東南海地震をはじめテロや事故、工場災害など様々な災害が発生する可能性があるため、明日起こっても対応できるように一刻も早く準備を整えたい。」との講評がありました。

スタッフ間でも訓練直前まで活発な話し合いが行われたことで、災害に対する意識が高まったのではないかと思います。訓練終了後実施したアンケートの結果や消防署からのアドバイスを踏まえ、マニュアルや訓練方法などを見直し地域ニーズに応えられる防災体制を構築したいと考えております。



トリアージとは

災害などのニュースでご存知の方も多いと思いますが、災害（事故）で多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重傷度に応じて適切な処置や搬送を行うため、傷病者の治療の優先度を決定することをトリアージといいます。

トリアージでは、トリアージタグと呼ばれる識別票を使用します。医師が重傷度を判別し、軽症（緑色）、中等症（黄色）、重症（赤色）、死亡（黒色）に区分します。また、タグには、氏名、住所などの情報や、傷病名、治療内容などが記入されます。



糖尿病週間行事報告 糖尿病センター

今年も全国で「予備軍から生活改善を」をテーマとして全国糖尿病週間行事が開催されました。

当院でも、昨年同様、10月31日～11月4日までの5日間、イオンショッピングセンターくすのき広場において、「糖尿病と眼 Eye・愛」をテーマにして、眼に関するポスターと、糖尿病についてのポスターなどの掲示をし、また11月3日、4日には、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士による各種相談、血圧測定・血糖測定・体格指数・視力測定などを行いました。

2日間で約300名の方に来ていただき、皆様より「これからの役に立ちました」10代女性、「スタッフがやさしかったので質問しやすかった」40代女性、「次回も定期的にしてほしい」30代女性、などの意見をいただきました。また、アンケートにて10代、20代の若い人がいつもより多かった事、血糖値や血圧に関心を持っている方が多い事、食事や運動には気をつけている方が多い反面、今までに眼の検査をしたことがあるという人は少ない事が分かりました。

今後、糖尿病センターとして、アンケート結果を参考にすると共に地域の方々とはふれ合う活動を通じて、皆様の健康管理のお役に立てればと考えております。

今回の行事にご協力、ご参加いただきましてありがとうございました。これからも、よろしくお願い致します。



第9回院内コンサート開催

平成18年12月19日(火)リハビリセンターにおいて、第9回院内コンサートが盛大に開催されました。

新居浜市立西中学校合唱部合唱隊として90名もの皆様が当院へ来院してくださり、入院患者様へ心温まる合唱をご披露いただきました。

その西中学校合唱部合唱隊は、今年の全日本合唱コンクール全国大会で銅賞を受賞するなど、実力は常に高い評価を受けており、今回の院内コンサートでもNHK課題曲であった「虹」をはじめ、全日本自由曲の「いまぼくに」や「ソルシコスの夜」など全13曲のすばらしい歌声を拝聴できましたこと、入院患者様はもちろん職員一同も大変感謝しております。

ご来場の皆様には、合唱隊の歌声で日頃の生活からひと時の癒しを得られたのではないかと考えております。また、合唱前には、気持ちのこもった折鶴も頂戴いたしましたので、これからの療養の励みとなるよう、15西病棟へ飾らせていただきました。

楽しい時間を作っていただきました西中学校合唱隊の皆様、本当にありがとうございました。

編集委員会より

住友別子病院ニュースは、平成元年8月に創刊されこの1月号でNo.101となりました。編集委員会では、No.101を新たなスタートと考え、『皆様と一緒に作る。読んで楽しく、わかりやすい情報誌』をモットーにデザイン・構成・企画などリニューアル致しました。いかがでしょうか？

これからは、可能な限り皆様のご意見を取り入れさせていただき、皆様と一体感のある情報誌となれるよう努力したいと思います。

つきましては、皆様方から感想や企画など、忌憚ないご意見をお待ちしておりますので、下記担当者まで、葉書・メール・電話等にてお願い致します。

住友別子病院ニュースが皆様との“かけはし”になりますよう、今後とも、どうかよろしくお願い致します。

募集しています

1. 表紙の写真(詳細は担当者まで)

- ・写真 普通サイズ以上の写真または、デジタルデータ
- ・テーマ テーマは問いません。(季節物歓迎)
- ・締切 発行号(奇数月発行)の1か月前(3月号なら1月末が締切)
- ・申込方法 住所、氏名、連絡先を必ず記入して郵送または、データ送信にてご応募下さい。
複数の応募があった場合は、委員会にて選考させていただきますので、必ず掲載されるものではありません。
またお申し込みいただきました写真につきましては、原則としてご返却致しかねますので、ご了承下さい。

2. 企画 “こんな企画があったらいいな!!”と思われたらお知らせ下さい。お待ちしております。

3. 担当者 〒792-0825 新居浜市王子町3番1号

住友別子病院 病院ニュース担当者 古川 龍二

TEL(0897)37-7133 FAX(0897)37-7134 メール ryuuji_hurukawa@ni.sbh.gr.jp

住友別子病院カレンダー

2007年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	②	③	4	5	⑥
7	8	9	10	11	12	⑬
14	15	16	17	18	19	⑳
21	22	23	24	25	26	㉗
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	⑰
18	19	20	21	22	23	㉔
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	⑰
18	19	20	21	22	23	㉔
25	26	27	28	29	30	㉑

○印は病院特別休診日

1月8日・2月12日・3月21日は休日ですが、通常どおり診療いたします。



すこし昔の話です。



リハビリセンター
の 篠原あやお 文雄

色あせた古いスケッチ を見
て下さい。昭和の初め、西条市
船屋石風呂前（今の西条への産
業道路を歩き、信号とガソリン
スタンド・ゴルフの打ちっ放し・
フォルテの所）から新居浜を見
たところです。右は山が海に迫
り、はるかに工場が見えていま
す。左には工場との間に広い海

を隔てて御代島と端島が見え
ています。この頃は磯浦から
船屋まで手漕ぎの舟が通って
いたとのことです。昭和十年
近くなると海岸に道路が出来て、
バスが通り始めました。西条・
新居浜間が二十四銭、八ガキ
一銭五厘、うどん五銭、アン
パン五銭、キャラメル一箱五銭、
板チョコ十銭でした。県立中
学校の授業料一ヶ月四円五十銭、
フィルム一本一円三十五銭、
自転車六十円、大卒初任給六十
円、ピアノ一二〇〇円。その頃
中学生だった私が船屋石風呂前
でうつしたのが です。カーブ

が多くて中学校へ行っていた五
年間でバスが二回転落しました。
は昭和二十五年頃です。道が
広くなりました。写真 は、
昭和十年頃の星越トンネルを出
る鉱山鉄道と星越駅です。星越
駅は の社宅と共に産業遺産と
して残して欲しいという声があ
ります。写真 は船屋石風呂跡
の現在の景色です。
星越駅ではこんな場面をよく
見ました。汽車が着いて皆乗り
込んでいざ発車という時、子供
がハアハア言いながら駆け込ん
できて駅長さんに「今、お母ちゃ
んがそこ走ってきよるけん待
ってちょうだい。」「しょうが
ないなあ。一寸待って」と車掌
さんに合図してお母さんのくる
のを時計をみながら待っていま

した。赤ちゃんを背負ったお母
さんが「すみませんねえ。」と
言って無事乗り込んでから発車
オーライです。
お正月になると家々では門に
門松が立ち日の丸の旗を立てて
いかにもお正月だと言う感じで
した。蓄音機の音が聞こえたり、
人々のざわめきの声が聞こえて
道は年始廻りの人々が行き来し
ていました。子供達は皆、外へ
出て、羽根突き・コマ廻し・凧
揚げなどです。星越山の頂上は
埋立用の土を取った跡で広々と
していて風がよく当たるので、
ブンブンといううなりのついた
大きい凧を揚げたものでした。
戦争の足音もまだ聞こえず、の
どかな時代でした。